1/28

日米の沖縄新体制の合意策動

本日沖縄問題日米京都会議粉砕！

―カーゼニ銃の前に跪くのか、立上るのか？
―この沖縄県民にかけられた問いを君自ら問え！

2・4の斗いは沖縄の全生産点はストッパすする！

三分の労働・生活の場である「基地」をツメセ！　日々の労働が帝国主義支配を維持していることを拒絶せよ！――これが沖縄県民の斗う出びである。沖縄県民は現在、米民政府による「総合開発計画」による根カツにもかかわらず沖縄全軍労を中心に全県ゼンエ体制を結成せんとしている。ただ単なる日々の経済要求、賃金労働者のみに新設する斗いは、中産階級沖縄状況日本人のアジア支配の基地となっていることを拒否し、沖縄を通しての七〇年安保強化路線を粉砕していく斗いへと発展している。

2月4日、その日、県労協が中心となり、すべての労働者、農民、都市にまでも呼び掛けてストライキに突入し、20万人の基地闘争会議がなわれ、二の沖縄県民の斗いこそがアメリカの極東戦略の要石であり、日米軍事同盟の結節点を突き破る斗いであり、七〇年斗争の最先頭にたった英雄的斗いにほかならない。

かつて、水道、いっさいの官公庁の事務をはじめとして、基地撤去の斗いをとめる斗いである。沖縄県民はあらゆる米民政府による恢カツにも妥協せず、そして、たとえリービン銃を突きつけられても、この斗いを成功させるであろう。――本土の七〇年斗争の先頭にたつために。

> 最終的七〇年安保粉砕の強化の中、六九年の斗いは、本日の斗いで展開される！

本日、「沖縄およびアジアに関する日米京都会メ」が京都国際会館で行なわれる。この会議は、日米両国の体制側民間人が出席し、①アジアの平和と日本の役割、②沖縄の地位、③沖縄返還后の日米関係が討議される。この会議の本質は、沖縄の米軍基地の返還から七〇年安保の強化という体制側から提出された日帝ブルを民間人までもまきこんで、一体を合意しためのようなポーズを取り、沖縄問題を日本ナショナリズム上すり変え、11月佐藤米大統領への上京米入に向けての七〇年路線の基本的内実化をすることにほかならない。

本日全関西の労働者は一万人京都国際会議場周辺に決起する。学友諸君！　ヨウ言戦闘者とともに、日米帝七〇年安保体制粉砕のー的年のヨハを本日のヨハで切りひらき、4・28ゼネストを準備しよう。

本日のスケジュール
10　市大出発
30　文化講演会前
60半　中央集会

統一会議　1/28